

# いわいずみ



ふるさと岩泉の

## 大家族⑭

### 高校生の熱意を町政へ 議員と語る会 in 岩泉高校 …2・3

二升石小と浅内小 岩泉小へ統合 …… 4

猛暑対策 小中学校にエアコン設置 …… 6

町の考えを問う (7議員が一般質問) … 8~15

釜津田の中田学さん一家です。親子で農林業を営んでいます。8人の子どもに恵まれ、とても元気でにぎやかな家族です。

# 高校生の熱意を町政へ

## 議員と語る会 in 岩泉高校

### 泉高生の思い5選

参加した生徒に2つの質問をしました。回答の多かった5つを紹介します。

Q1

#### 町に今ほしいものは

- ・働く場所
- ・高校生が子どもや高齢者と交流できる場
- ・娯楽施設、公園
- ・街灯
- ・病院に専門医



Q2

#### 町の好きなところは

- ・自然豊か
- ・観光資源がいっぱい
- ・岩泉高校への手厚い支援
- ・人が温かで優しい
- ・食べ物がおいしい

## 泉高生と語る会

11月30日、岩泉高校(吉田祥校長・生徒154人。以下、泉高)で「議員と語る会」を開催しました。生徒会を中心に10人の生徒が参加し、昨年度から泉高が取り組んでいる「KIZUKIプロジェクト」について議員と意見を交換しました。

町と向き合っているような発見、KIZUKIがあったのか。真つすな瞳で語る泉高生の様子をお伝えします。



参加した10人の泉高生

### プロジェクトとは

泉高では、台風10号豪雨災害を受けた翌年から岩泉町の復興に向けた課題解決の道筋を探るための活動として「KIZUKIプロジェクト」を行っています。

### 活動の流れ

- ①地域の課題を探る
- ②グループで課題の仮説を設定
- ③仮説の検証
- ④聞き取り調査
- ⑤課題解決へ向けての行動
- ⑥振り返り、まとめ
- ⑦泉高祭で発表

### 気づいた課題は

- \*旧岩泉駅前に観光客を誘導するには
- \*林業を発展させるには
- \*子どもたちと高校生が触れ合い、地域全体で見守ることが必要ではないか
- \*独居の高齢者との交流が必要ではないか

### 取り組みの一例は

SNSでの投稿やインスタ映えを考えて、龍泉洞にある「ポント」でメニューの提案やチラシを作成。併せてメニューの外国語表記などを実施しました。



プロジェクトの説明をする生徒会役員

### 今後の方向性は

\*若者のニーズに答えるための専門的な機関がサポートに入って連携できないか

「高校生にしかできない視点で前向きに継続し、町民の皆さんと触れ合う機会を増やしていきます」「役場や関係機関と連携して、町を発展させられるような取り組みを目指します」「プロジェクトの内容を冊子にまとめて、多くの人に知ってもらえるよう情報を発信していきます」と話していました。



説明に聴き入る議員



参加者みんなで町への思いを共有

【所感】若者の感性は、知れば知るほど考えれば考えるほどたくさんのおいしさがあります。大きな岩泉愛を感じ、頼もしくうれしい時間となりました。(広報広聴常任副委員長小松ひとみ)

### インターンシップで進路選択に役立てる

議会では、10月23日から25日まで泉高生のインターンシップ(職場体験)を受け入れました。

主な仕事内容は、福岡県東峰村議会と金ヶ崎町議会の行政視察受け入れや会議録のチェックでした。感想を紹介します。

特に印象に残ったのは、行政視察の受け入れです。「他の町の取り組みなどを把握し、自分の町に生かす」という話し合いを実際に見ることができ、とてもいい経験になりました。

仕事の大変さ、そしてコミュニケーション能力の大切さを改めて実感しました。学んだことをこれからの進路選択などに役立てていきたいです。



2年 毘野美優さん

# 二升石小と浅内小 岩泉小へ統合

## 学校統合に関する条例を可決

### 【12月定例会のあらまし】

12月定例会は、12月5日から7日までの3日間の会期で開かれました。初日の本会議では一般質問が行われ7人の議員が登壇し、町政や地域の抱える課題について論戦を展開しました。その後、町長から3件の報告を受け、固定資産評価審査委員の選任に関する同意1件、工事契約案件など5件を審議し、全会一致で可決しました。条例5件、一般会計と4特別会計の補正予算は、特別委員会を設けて集中審査。その結果、提案された全ての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。



二升石小学校2学期の終業式

31年3月末に二升石小学校と浅内小学校を閉校し、4月から岩泉小学校に統合する条例改正案が提出され、全会一致で可決しました。町では、26年度に策定した「町学校適正配置基本計画」に基づいて、児童生徒のよりよい教育環境の整備のため学校統合を進めてきました。これまで両校の保護者や地区住民と

### 二升石小 142年 浅内小 140年 の歴史に幕

現在の児童数は、二升石小10人、浅内小6人です。2校の閉校により町立の小学校は、8校となります。二升石小は卒業式が3月20日、閉校式が3月24日、浅内小は卒業式が3月16日、閉校式が3月17日に予定されています。



浅内小学校最後の学習発表会

### 12月補正予算の状況

会計名	補正額	補正後の予算額	
一般会計	5億8120万円	154億7810万円	
特別会計	国民健康保険	846万円	13億2664万円
	介護保険	69万円	15億2145万円
	簡易水道	6472万円	5億7170万円
	観光事業	1067万円	1億9863万円

**災害危険区域の指定条例を可決**  
県の河川改修事業により6地区（三田市、斐野、宮本、中里、中島、卒郡）の一部で河川からの氾濫を許容する区域が生じるため、その区域を災害危険区域として指定し、建築物の建築を制限する条例を可決しました。



小中学校教室へのエアコン設置

9030  
万円



町民会館自動ドア設置工事

235  
万円



福祉灯油助成

375  
万円

## 主な事業を ピックアップ

12月定例会で可決された主な補正予算事業を紹介します。

国道かさ上げによる配水管敷設工事  
集団移転地配水管敷設工事



4705  
万円



小川地区放課後児童クラブ開設準備

451  
万円



飲料水個人施設災害復旧補助

558  
万円

次は、条例補正予算審査特別委員会

# 猛暑対策 小中学校にエアコン設置

## 児童生徒の学習環境改善へ

条例補正予算審査特別委員会（三田地久志委員長）は、12月7日に開かれ、小川災害危険区域に関する条例制定や小中学校教室へのエアコン整備事業費9030万円を含む補正予算など10議案を慎重に審査しました。

### 設置費用の補正予算 9030万円を可決

その結果、付託された議案全てを原案のとおり可決すべきものと決定し、同日開かれた本会議において全会一致で可決しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの質疑を取り上げ内容を要約してお伝えします。

### 育 エアコンの設置箇所は 普通教室を中心に整備

**問** エアコンの具体的な設置箇所は。

**答** 授業を行う普通教室と特別支援の教室、保健室に設置する。

**問** 小川小学校への設置がない。理由と対策は。

**答** 1年後に閉校が予定されているため設置を見



授業に集中できる環境が整います

送った。扇風機を集めるなど、できる限りの暑さ対策をする。

**問** 職員室への設置はどうするのかが。

**答** 子どもたちの学習環境整備が優先のため職員室には今回設置しない。

### エアコン整備の概要

○対象  
小学校7校  
岩泉、大川、釜津田、門、安家、有芸、小本  
中学校5校  
岩泉、釜津田、小川、安家、小本  
○総事業費 9030万円  
※統合予定の浅内、二升石、小川小学校には整備されません。

### おしゃべり ますの声



有芸小学校5年 工藤妃来代さん

有芸小学校では業間にランニングを10分間行っています。夏場は暑くて大変で具合を悪くする人もいます。エアコンが設置されると走った後も気持ちよく過ごせると思います。

### 子育て 放課後児童クラブの開設場所は 小川生活改善センターの学習室

**問** 小川地区放課後児童クラブの運営は。

**答** 委託先を公募して決定する。

**問** 開設場所はどこか。運営の規模などは。

**答** 小川生活改善センター2階の学習室を使用する。定員は20人で支援員2人以上とする予定である。

**おしゃべり ますの声**  
小川地区にも放課後児童クラブがあればいいなと思っていました。働いている親にとって時間を有効に使うことができるので、とても助かります。  
菊地夏美さん (小川 35歳)

### 復興復興交付金は全て精算か 復興交付金返還金の内訳

**問** 東日本大震災復興交付金の返還金4億4382万円が計上されている。全部精算になるのか。

**答** 災害公営住宅の家賃低廉化事業や特別家賃低減事業が継続するため全てではない。

### 復興交付金返還金の内訳

省庁	返還金
文部科学省	1億5692万円
農林水産省	1億8455万円
国土交通省	9113万円
環境省	1122万円
計	4億4382万円

### 観光 緊急誘客対策事業の目的は 観光消費額の増大を目指す



冬季イベントにも力を入れている龍泉洞

**問** 緊急誘客対策事業の具体的な内容と目的は。

**答** 旅行会社への訪問営業や観光客の受け入れ対応研修などを実施し、観光消費額の増大を目指す。

**問** 緊急誘客対策協議会の構成は。

**答** 町と町内ホテル2事業者の3者である。

### おしゃべり ますの声



たてしょうじ 立小路一彦さん (小川 59歳)

町内観光の新たな素材発掘や磨きあげ、オリジナル商品の造成への取り組みが可能となります。新しい魅力を発信することで、今まで以上に幅広い誘客が期待されます。

### 松浦さんの選任に同意 固定資産評価審査委員

任期…31年1月19日から3年間



松浦 紀雄さん (小本 67歳)

### 補助金の数値などは適正 調査結果を委員長が報告

平成29年度地域医療確保対策補助金に関する調査特別委員会（畠山直人委員長）の調査結果が、12月7日の本会議で報告されました。要約した内容は次のとおりです。

【調査結果の概要・意見】  
▽事務執行と数値などは適正に処理されていると認められた。  
▽地域医療の確保対策は、なお一層きめ細かな対策に努めるべき。



# 買物困難者の支援対策は

島山和英 議員

## 総合的に調査・研究する

中居町長

**問** 本町は、過疎化や少子高齢化が進行し、商圏人口の減少とともに商店が廃業して地域によってはお店が無くなっている。

同様に、集落を回って日常の買物の場を提供している移動販売も少なくなってきた。現在、動いている事業者は継続が厳しい状況にある。

買い物弱者の問題はますます深刻化し、町として買い物弱者支援対策に正面から取り組む時期だ。移動販売事業の応援も含めて買い物弱者の支援をどのように取り組むのか考えを伺う。



大型の移動販売車



スーパーと変わらない車内

**町長** 移動販売は、買い物弱者の問題を解決する際に欠かすことのできない重要な手段の一つである。

町内で移動販売を営業している事業者からの聴き取りによる課題の掘り起こしや岩泉商工会との連携により、行政としてどのような協力が可能か情報を共有していく。

買い物弱者の問題は、交通や福祉などの幅広い分野に関わるものである。過疎地域にとっては今後ますます大きな課題となることから、総合的に調査・研究をしていく。

# 町の考えを問う

## 一般質問

### 7人の議員が登壇

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。あるいは報告や説明を求めることをいいます。

12月定例会では7人の議員が登壇し、産業、交通、健康、地域振興など町政課題への提言や質疑をしました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容(9頁から15頁)を登壇順(質問順)にお知らせします。

**島山 和英 議員 (9頁)**

- ・買物困難者の支援対策は
- ・ふれあいらんど岩泉の再生は

**三田地久志 議員 (10頁)**

- ・ワサビのブランド化を
- ・国道455号強靱化を

**坂本 昇 議員 (11頁)**

- ・健康長寿に向けた対応は
- ・いじめの実態と対応は

**合砂 文司 議員 (12頁)**

- ・高齢者福祉施設の整備を
- ・集落支援員の配置を

**林崎寛次郎 議員 (13頁)**

- ・大牛内の水道整備の時期は
- ・国保税率は32年度から見直しを

**小松ひとみ 議員 (14頁)**

- ・住民参画の活動支援を

**野館 泰喜 議員 (15頁)**

- ・ふるさと住民条例の制定を
- ・龍泉洞のリピーター対策を

## ふれあいらんど岩泉の再生は失われた機能は再整備で検討

**問** ふれあいらんど岩泉の再生整備は、住民の夢、希望を実現し将来に期待がもてるものとすべきだ。災害からの「復興公園」と位置付け、被災以前よりグレードアップした施設の再生整備ができないか。

エリア内の「森林空間」と河川の「親水空間」を活用し、森林と水の町にふさわしいシンボリックな交流拠点に整備したい。

整備の方向性、コンセプト、施設・設備の内容、配置、今後のスケジュールを具体的に示せ。

**町長** 復興のシンボリックな交流拠点施設としての整備は、今後の復旧・復興を進める上で町民に希望を与えるために大変重要である。

陸上競技場は、河川改修工事の関係から被災前と同規模の施設は極めて困難な状況だが、全天候舗装のトラックで最大6レーンを検討している。

パークゴルフ場は、現在のふれあい農園の東側の用地を活用し、18ホールの施設を整備する方向で検討している。

10億円を超える大事業になることから、完成までには4年から5年の期間を要する。財源確保を含め可能な限りスピード感を持って早期の完成に努める。

17文字のひとりごと

やまあいに動くスーパー 御用聞き

一般質問を動画配信中

ピーちゃんねつとで、一般質問の様子を2月28日まで動画配信しています。ご覧ください。

町ホームページで会議録が閲覧可能

30年第2回(6月)定例会から議会会議録を町ホームページで公開しています。12月定例会は2月下旬ごろに掲載予定です。

町立図書館と役場各支所図書室では、会議録の写しを閲覧可能です。



議事を傍聴しませんか

次の定例会は、**2月15日(金)から3月8日(金)まで**を予定しています。

※都合により変更となる場合があります。



# 健康長寿に向けた対応は

坂本昇 議員

# 予防活動の強化を進める

中居町長

町長 在宅へとつなげる医療・介護連携の取り組み、高齢者の支え合い活動に対する支援として「地域支え合い活動推進事業」や「いきいき百歳体操」をサポート

問 第7期介護保険事業計画策定時のアンケートでは「趣味がない」「生きがいがない」と回答した人の割合が高い。 老後の引きこもりや認知症への移行につながるのではないかと危惧される。その対策、対応をどのように考えているか。 平均寿命と健康寿命との差が大きい。健康長寿に向けた対応は。



日頃の運動で健康長寿へ

トする自主活動団体の拡大を図ることで、地域住民が互いに支え合う地域づくりができるよう計画した。 予防活動への積極的参加の奨励や在宅介護サービスの体制づくりと充実を努め、住民が安心して暮らし続けることができるよう着実に計画を実行していく。 町民一人一人の健康への関心をより一層向上させる啓蒙・啓発の取り組みの拡充を図り、継続した予防活動に力を注ぐ。 医療と介護の予防活動の連携を深めて「生涯現役、健康長寿」を目指した事業展開をこれまで以上に強化していく。



# ワサビのブランド化を

三田地久志 議員

# 戦略を組み立てていく

中居町長

きるよう努めている。

問 今後導入される「森林環境譲与税」は、山の路網（※1）整備ができ、間伐した後をワサビの圃場にすると前向きな投資を実施することが可能と思う。町長の考えを聞く。

産者との連携をはかり本町の自然が育んだワサビのブランド化をすべきである。 町長 移住を検討している人に魅力ある町であることを伝えながら、ブランド戦略を組み立てていく。

町長 直接的にワサビ圃場への作業道整備には活用できない。森林整備による作業道などを利用し、適地となるワサビ圃場が拡大されていくことに期待感を持っている。 問 森林環境譲与税は、人口減少に歯止めをかける前向きな投資と考え、移住者の受け入れのワサビ圃場を整備し、最終的には既存生



新工場でのワサビ加工

# 国道455号強靱化を 国や県に要望していく

問 台風被害を受けた国道455号はほぼ復旧工事が完了しているが、落合から二升石間、乙茂地区や中里地区については抜本的な解決が必要だ。 一度起きたことは今後予想されることであり二度と孤立しないよう、崩壊箇所の強靱化を強く要望すべきだ。町長の見解を伺う。

町長 国道455号の強靱化は必要と捉え、国道455号・盛岡普代間道路整備促進期成同盟会（※2）で、県や国土交通省、財務省へ要望活動を実施した。 二度と寸断しない防災上の道路ネットワークを確保することが極めて重要である。三陸沿岸道路と県都盛岡市をつなぐ「いのちの道」として早急に強靱化が図られるよう、国や県に要望していく。

17文字のひとりごと ワサビより からい質問 もっとせよ

# いじめの実態と対応は 早期発見し組織で解決

問 いじめの認知件数は、小学校57件、中学校8件となっている。小学校の件数が昨年の2倍であるが、実態と取り組み状況を示せ。



教育長 いじめに関しては従来と認識を変え、さまざまな事でも早期発見し、解決に向けて積極的に事案を捉えて学校から報告を受けている。認知された事案は、組織的な対処などにより全て解決に至っている。 本年度も学期ごとの調査を通じて学校との連携を図りながら、町が策定した「いじめ防止対策等のための基本的な方針」に基づき適切に対処していく。

問 その他の質問 部活動の岩泉リーグ開催を

答 実施に係る課題を検証する

17文字のひとりごと 健康と 笑顔に勝る 宝なし

(※1) 森林内にある林道や作業道のこと (※2) 盛岡市、久慈市、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村で構成する国道455号・盛岡普代間道路の整備を強力に促進するための団体



# 大牛内の水道整備の時期は

林崎 競次郎 議員

## 早い段階で整備計画を策定

中居 町長

**問** 大牛内地区の水道施設は、できてから44年以上になり、経年劣化で季節を問わず漏水が頻繁だ。断水すると住民や家畜への影響が大きく、漏水箇所の発見が遅れると電気料金がかさみ修理費用も高額になる。

その結果、積立金は0円となり料金の値上げをしなければならぬ。

大牛内地区の人は「岩泉町は台風10号被害からの復旧復興が第一だが、その先の大牛内地区の水道整備の



早期に水道施設の改修が望まれます

展望を示してもらいたい」といっている。整備の時期を示せ。

**町長** 大牛内地区全域の水道施設を更新する場合、5億円を超える多額の事業費となる。

現在、県を通じて国庫補助制度の情報収集をしている。財源確保の目途をつけながら住民と協議を進め、計画を策定できるように進めていく。



**問** 安家地区は280世帯550人で、65歳以上の割合は56・73%と岩泉町全体の42・42%を大きく上回っている。

安家地区にはデイサービス施設がなく「片道1時間かかり、体力的・精神的に疲れる。地元施設がほしい」との声があるが、施設を新たに整備すると介護保険料が上がってしまう。

高齢者が笑顔で安心して暮らせるように、介護保険制度にとられない高齢者福祉施設を廃校となった校舎を活用して町で整備すべきだ。町長の見解を伺う。

**町長** 安家地区では、地域の自主活動団体が高齢者のニーズをくみ取り、創意工夫を凝らした交流活動に先



笑顔があふれる介護予防教室

進的に取り組んでいる。

既存の施設や整備予定の安家地区複合施設の活用・支援協力などをし、台風災

害からの復旧・復興の先を見据えた地域づくりを念頭におき、安家型の高齢者福祉施設を検討していく。

# 高齢者福祉施設の整備を

## 安家型の施策を検討する

合砂 丈司 議員

中居 町長

**問** 地域づくりの観点から「集落支援員」(※)を配置するなどして、集落を維持・継続する支援策を実施すべきだ。

地域の要望により集落公民館とは別に、廃校となった校舎を町が整備し利用させるべきと考える。町長の見解を伺う。

**町長** 集落支援員の配置は、集落の維持・活性化対策などの推進には必要であり検討を進めている。

廃校となった校舎の整備は、地域からの具体的な要望を聞き財源の確保とともに検討していく。

その他の質問

**問** 安家産直施設の再建は

**答** 地域と調整し再建する

## 集落支援員の配置を配置の方向で検討中

支援員

地区を把握し  
道ひらけん

17文字の  
ひとりごと

## 国保税率は32年度から見直しを 31年度に引き上げざるを得ない

**問** 全国知事会などは、国保税を「協会けんぽの保険料並み」に引き下げるために「1兆円の公費負担増」を政府に要望している。

本町では、約4人に1人が国保加入者だ。国保税率の見直しは、台風被災者の住宅再建が完了する32年度からにすべきだ。さらに、国保基金保有額は過去3年の保険給付費平均年額の5%にすべきと考える。

厚生労働省は「都道府県化」実施後も「一般会計の繰り入れは自治体の判断でできる」と答弁している。暮らしを守る立場で、一定の法定外繰入(※)も含め進めていくべきと考える。町長の所見を伺う。

その他の質問

**問** いずみ公園に代わる施設を

**答** 公園の確保を検討していく

17文字の  
ひとりごと

整備せよ  
命の水は  
まったなし

(※) 法令で定められた一般会計から国保会計への繰り入れとは別に、市町村の政策的判断で行われる繰り入れ

(※) 地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウや知見を有した人材が、地方自治体からの委嘱を受け、市町村職員と連携し、集落への「目配り」として集落の巡回、状況把握などを実施するもの(総務省HPより)



# ふるさと住民条例の制定を

野館泰喜 議員

## 要綱も含めて検討していく

中居町長

**問** 人口維持には出生率2・08が必要と言われている中で、1975（昭和50）年に2・0を切っている。今の状況は50年前からわかってきたことだ。これから50年この人口減少は誰にも止められない。

この対応として、交流人口の拡大策を考えなければならぬ。

その一つとして「ふるさと住民」の取り組みについて伺う。「ふるさと納税」の絆を太くするために「ふるさと住民票」を発行している自治体がある。本町でもふるさと納税者に限らず、本町出身者や関係者、本町に思いを寄せる人を対



地域おこし協力隊員として活動している針生さん(右)

**問** 近年、全国各地で次々と自然災害が起こる中、復旧・復興は地域住民自らの奮起なくしては進まないというところを改めて強く感じている。

高齢化、少子化と悩む前に、生きがいを持って活動している住民グループの存在を忘れてはならない。食や健康づくり、イベントの企画開催など多岐にわたって活動している。

これらの活動は限られた地域の中で動きが多く資金面でも脆弱であり、以上に視野を広める機会に恵まれない状況にある。

希望をもって復興を進め地域を活性化させるために、今こそ住民参画の活動へのきめ細かな新しい支援が必要だ。町長の所見を伺う。

# 住民参画の活動支援を 実効性ある制度を研究

小松ひとみ 議員

中居町長

**町長** 地域の活性化に住民参画は必要不可欠なものである。これまでも多種多様な支援を行いつながり一丸となって「まちづくり」を進めてきた。

地域の活性化や振興の中心を担う「地域振興協議会」の設立に伴い、個々の団体の活動を支援する仕組みにシフトしてきた。まずは各地域振興協議会での事業実施を検討協議してほしい。

地域の活性化に向けて活動している住民には、国や県、他の機関などで実施している助成事業の情報収集に努め、要件に該当する場合はそれら制度を紹介する。これまでの交付金の効果検証もし、より活用しやすい実効性ある支援制度のあり方を調査研究していく。

象に「ふるさと住民条例」を制定すべきではないか。

**町長** ふるさと住民条例の制定については「定住人口」でもなく「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人を指す「関係人口」の拡大を図る手法の一つとして認識している。

現在は「潜在的移住希望者増加促進事業」や地域おこし協力隊の招請事業など、都市部から本町への新しい人の流れをつくる取り組みを強化している。

そうした関連事業の検証を進める中で条例制定がいいのか、要綱でいいのか検討していく。

**ふるさと住民票**

一般社団法人構想日本が提言している、都市部に居住している地元出身者などに地元との関わりを強く持つてもらうため、地元自治体が通常とは違った住民票を交付する制度です。



地元食のおもてなしが喜ばれます

17文字のひとりごと

手を挙げる  
新たなチカラ  
応援を

17文字のひとりごと

またいつか  
新たな故郷に  
こころ向く

## 龍泉洞のリピーター対策を 周辺再整備構想策定に着手

**問** 交流人口拡大策の2番目として龍泉洞のリピーター対策について伺う。

東日本大震災で落ち込んだ入洞者数も職員ならびにスタッフの努力で震災前の水準にもどしつつある。しかし、50万人を目指すとか1人当たりの町内消費額を倍増させるとか思い切った施策に踏み込む気配が感じられない。

リピーター対策を強く意識した周辺整備を計画すべきだ。意図的に動線を描いて、あと2、3時間滞在してもらおう努力そのものが魅力の創造につながる。町長の考えを聞く。

**町長** 龍泉洞の入洞者の増加や交流人口の拡大のためにはリピーターの掘り起しが重要だ。

現在、SNSでの情報発信のほか、春・夏・秋まつりの開催、冬季誘客企画を実施している。試行錯誤を繰り返しながら、滞在時間の延長とリピーターの確保に向けた取り組みを積み重ねている。

周辺整備については「龍泉洞周辺再整備構想」の策定に着手し、新たな魅力づくりによるリピーターの掘り起しと交流人口の拡大による地域経済の活性化に取り組んでいく。

次は、泉高校生の声





赤須賀麗奈さん (2年)

### 【町を發展させたい】

「高校生だから」という理由で活動範囲を狭くしていました。今後は「高校生にしか」という視点で、岩泉町を發展させたいです。



三上 昇太さん (2年)

### 【町に貢献したい】

KIZUKI プロジェクトの情報発信が足りないことが分かりました。これからの岩泉町に貢献できるような活動をしていきたいです。



柴田 佳史さん (2年)

### 【冊子を作りたい】

KIZUKI プロジェクトの活動を振り返り、これからの参考にするため自分たちで冊子を作りたい。多くの人に見て知ってほしい。

### 【できることをやる】

高校生でも岩泉町をより良くできることを知りました。町のためになることを探して、できることをやっていきたいです。



工藤 叶翔さん (2年)



阿部千恵美さん (1年)

### 【高齢者を訪問したい】

KIZUKI プロジェクトで高齢者の悩みや要望を聞き情報発信をしました。来年は、高齢者の自宅を訪問し交流がしたいです。

### 【町の支えに感謝】

普段、町に支えられて活動できていることに感謝しています。高校生が子どもや高齢者と触れ合える場が欲しいと思っています。



中村美彩日さん (2年)

# なほへん 泉 高生 の 声



議員と語る会に参加した生徒から感想や考えを聞きました。



工藤 朋樹さん (1年)

### 【学校と役場が連携を】

KIZUKI プロジェクトの課題は、学校と役場の連携不足だと思います。お互いが連携し、来年はさらに良い活動がしたいです。

### 【考えを伝えることは難しい】

自分の考えをどう伝えるか、どう説明すればいいかなど考えを伝えることは難しいと思いました。



太田 美咲さん (1年)



澤 和樹さん (1年)

### 【子どもは外で遊んで】

「外で遊ぶ子どもが減っている」ということが議会でも話題になっていたことがうれしかったです。自分たちが中心となって頑張ります。

### 【町の發展に貢献する】

高校生と議員の見ている町の共通点や相違点を見つけることができました。町の発信や發展に貢献できるように頑張ります。



久保尻星華さん (1年)

## 広報広聴常任委員会

委員			副委員長			議長
島 昌典	島 和英	三田地 久志	野 館 泰喜	小 松 ひとみ	八重樫 龍介	加藤 久民

**編集後記**

中居町政に代わってから1年が経過しました。台風災害からの復旧・復興に奔走した年だったと思います。議会だよりも一般質問や記事として取り上げる話題は、被災者支援や復旧事業の内容が多く、被害の大きさを改めて感じました。今年はその将来を見据えた施策に取り組む内容の記事を多く掲載できることを願っています。議会だよりは「まちの声」を率先して掲載していきます。皆さんのご協力を本年もよろしく願います。

広報広聴常任委員長  
八重樫 龍介



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。